

「令和7年度全国学力・学習状況調査」小学校国語2三の問題

問題の概要

【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く

出題の趣旨

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

【調べたこと】

本を読んで分かったこと

- ブックカバー
 - ・何回か折るだけで、すぐに完成する。
 - ・本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
 - ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

使ってみて分かったこと

- ブックカバー
 - ・よごれがつくのを防ぐことができてよかった。
 - ・落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
 - ・水てきが荷物につかなくてよかった。
 - ・温かい飲み物が冷めにくかった。

調査の結果

	正答率
東京都(公立)	62.1%
全国(公立)	61.3%

【ちらし】の——部を書き直しくわしめよう。(一文でなくてもよい)

【調べたこと】の本を読んで分かったことと使ってみて分かったこととをそれぞれ言葉や文を取り上げて書くこと。六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

条件

【ちらし】

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものなのでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、好きなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみや好きなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手の——このみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また外で作業するときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。このように、手ぬぐいは、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

山田さんは、【ちらし】の書き表し方について友達に相談し、【ちらし】の——部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の【調べたこと】を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。

あとの条件に合わせて書きましょつ。

まず、資料の内容を理解しているか、声を掛けてみましょう。



【ちらし】と【調べたこと】がどのような内容か、簡単に教えてくれるかな。

えーと、【ちらし】は……。うーん、説明できるほど、しっかりと読んでいなかったかも。



次に、伝えたい情報を取捨選択し、考えを整理できるよう、声を掛けてみましょう。



【調べたこと】の中で、伝えたいことは何かな？

ブックカバーについては、「何回か折るだけですぐに完成する。」「よごれがつくのを防ぐことができてよかった。」、ペットボトルカバーは、「包んで持ち運ぶことができる。」「水てきが荷物につかなくてよかった。」が伝えたいことだと思う。

どこに何が書かれているか、伝えたい情報は何かなどを整理してから書くことが大切だね。



解決の見通しを立ててから学習を始めることが大切

書く目的や意図を明確にすることが重要。伝えたい情報を取捨選択して書くことが大切。

読み手の立場から「どこを詳しくすれば目的や意図に応じた文章になるのか」ということを中心に、お子さんにアドバイスしましょう。

